

これからの磐田市の「休日の部活動」

日頃より磐田市の学校教育に対し、御理解と御支援をいただきありがとうございます。近年、中学校の部活動の在り方について多くの議論がなされています。2022年6月にはスポーツ庁へ、8月には文化庁へ、それぞれが設置した検討会議より提言がまとめられました。

それを受け、2022年12月、スポーツ庁及び文化庁より「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）が示されました。

「ガイドライン」には、次のような内容が書かれています。

- ・少子化の中、持続可能な体制にする必要がある。（学校や地域によっては学校部活動の存続が厳しい。）
- ・市区町村が中心となって新たな運営団体を設立し、学校施設を活用して行われる活動に指導者を派遣する体制や、クラブチームや各種協会など地域の多様な運営団体が実施する活動に生徒が参加する体制など、地域の実情に応じた段階的な体制の整備を進める。
- ・当面は、学校部活動に部活動指導員や外部指導者を配置し、生徒の活動環境を確保することも考えらえる。

ガイドラインの詳細はこちらからご覧ください。



磐田市では・・・

☆「部活動は人間教育である」という理念の下、「子ども第一」で休日の部活動の地域移行を考えていきますが、当面は学校部活動を継続させます。

- ① 学校部活動はなくなりません。
令和5年度は、生徒の活動機会を確保するためにも今まで通り学校で休日の部活動を行います。
- ② 教育委員会内に「専門的な部署」を立ち上げます。
子どもたちのニーズや地域や保護者の声を聞きながら、磐田市ならではの休日の部活動の地域移行の在り方について検討していきます。
- ③ 「部活動指導員」を配置します。
従前より、磐田市独自の制度である「部活動外部指導者」を利用して、多くの地域の方々に部活動の指導を協力していただいております。
来年度は、上記の制度に加え、新たな制度として「部活動指導員」を配置することで、専門性の高い指導を実現していきたいと考えています。